

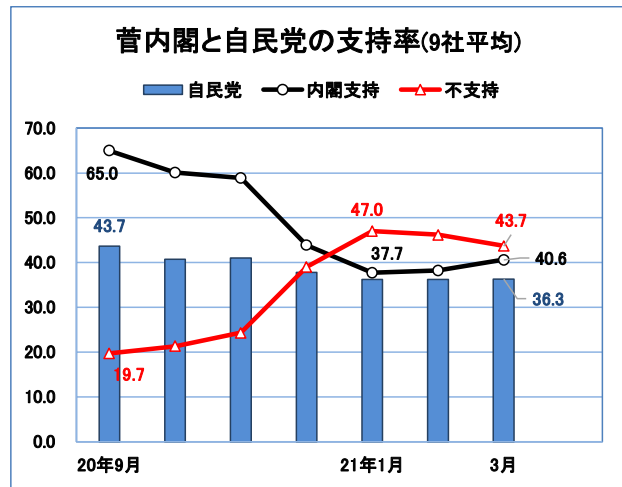
直近の世論調査から－2021. 4. 9(菅内閣発足半年…「下げ止まれる」かは微妙)

1. 菅内閣の支持率は40.6%(不支持43.7%)と「下げ止まり」状態だが…

内閣支持率

3月	支持	不支持
日経3.29	45	46
毎日3.14	36	55
読売3.8	48	42
朝日3.22	40	39
共同3.22	42.1	41.5
時事3.12	35.0	41.0
NHK3.8	40	37
JNN3.8	42.6	53.2
ANN3.22	36.6	38.7
平均	40.6	43.7
2月平均	38.2	46.2
前月比	2.4	-2.5
参考FNN	51.4	42.8

①菅内閣は発足して半年を迎えた。3月の支持率は40.6%となり、前月比で2.4%増。不支持は43.7%で同じく前月比で2.5%減だった(9社平均※表の黄セルは逆転)。右図のように、発足してから今年1月までは支持率が急降下したが、2月、3月は「下げ止まり」傾向になっているが、4月は微妙だ。



GOTOトラベル事業－政府の対応

	評価・継続	評価しない
20/7月朝日	18	74
8月2社	20.5	63.0
9月2社	39.5	48.0
10月3社	45.3	45.7
11月4社	44.4	47.3
12月2社	15.5	73.0

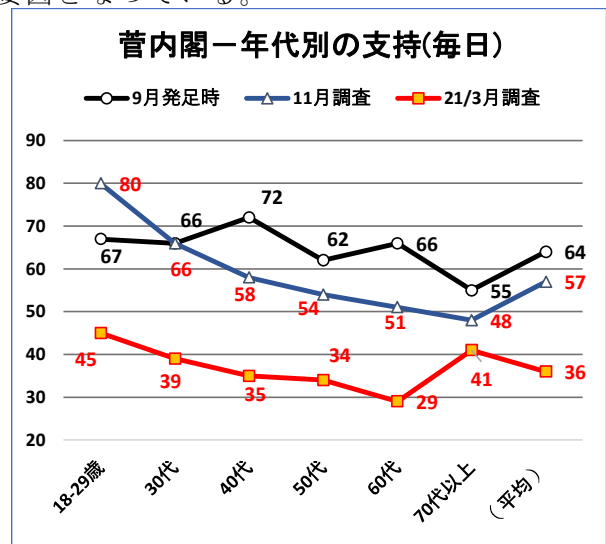
前回レポートでも若干触れたが、菅政権の初期のコロナ対策は「GO TOトラベル事業」が象徴的で、コロナ感染が鎮静化傾向を見せた10月頃は、この事業の一定の効果に対する評価が得られたものの(10月は「評価する」が45.3%、「評価しない」45.7%)、感染再拡大の気配が濃厚となった11月に入っても菅首相はこの事業を中断させることが出来ず、年末の感染爆発を招いてしまった。

年明けに発令された緊急事態宣言(1.7)も「遅すぎた」との声は78.6%にもものぼり(1月・7社平均)、「(首相は)指導力を発揮していない」との声は73%(1月朝日)に達して、菅内閣は圧倒的な世論の動向に逆らった形になってきた。支持率の急落に焦った首相は、その後2度にわたって緊急事態宣言を延長するなど、世論に迎合する姿勢を顕著に見せたことが、現在の「やや下げ止まり」気配の要因となっている。

②しかしこの間の経緯の中で、菅政権を支えてきた二階幹事長との関係も冷え込み、「麻生－安倍の院政コンビによる菅おろしが始まる」などとの噂が出るほど、自民党内部の結束も不安定化してきている。自民党の支持率もこの半年で43.7%から36.3%に▼7.4%下落した。

菅内閣を支える自民党支持層の内閣支持率を見ると、朝日新聞の調査報道では「9～11月は自民党支持層の8割超が菅内閣を支持していたのだが、12月には67%、今年2月には63%に落ち込んでいる。無党派層の内閣支持率も2月には18%しかない状態」だという。

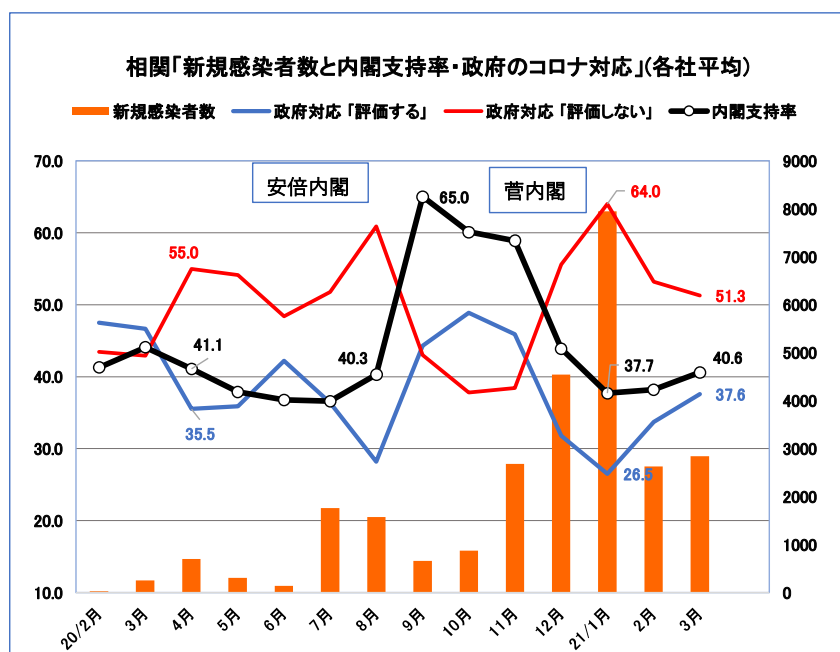
さらに菅内閣の支持率を年代別に見てみると(右図：毎日新聞)、9月発足時の菅内閣支持率は平均で64%。うち20代が67%で、70代以上も55%と、全世代を通して高く、ゆるやかな「若高－老低」になっている。これが11月調査では20代だけが80%へと上昇し、70代以上は48%と支持率の年代傾斜が急になった。これは菅内閣の打ち出した携帯料金値下げ、デジタル庁、不妊治療、押印廃止など、直接的で実利的な政策に対する若者の現実的な反応が出たものと見てよいだろう。



しかし今年3月の調査では、支持率平均が36%にまで落ち込み、全年代を通して下降した。

その中でも「70代以上が41%」と少し特異な傾向が見える。これまでは、政権に対して常に批判的である高年齢層が「やや踏みとどまっている」ことだ(それでも下がっていることには違いがないのだが…)。毎日(社会調査研究センター)の報道では、その背景には「ワクチンへの期待感が高年齢層で高まってきたこと」を上げている(詳細は後述)。

2. コロナ対応が内閣の命運を決める…これからは「まん延防止」とワクチン？



①安倍内閣から引き継ぎ、今なお最大の危機的課題となっているのは、新型コロナに対する「政府の対応」問題なのである。

図「新規感染者数と内閣支持率・政府のコロナ対応」を見てほしい。先の安倍内閣は、昨年4月(支持41.1%・不支持44.0%)から退陣する8月(支持40.3%・不支持48.1%)までの5ヶ月間は、4度目の支持率逆転(不支持が支持を上回る)の時期でもあった。政治課題としては、だらだら続く「桜を見る会」問題や「黒川検事長の退任」問題が注目されていたが、実は新型コロナ問題(危機管理)に対応でき

ない政権の無策ぶりこそ、政権の求心力(内閣支持率)を、直接に破壊し続けてきたのだった。

「政府のコロナ対応について」の評価がマスコミの世論調査項目に上がったのは昨年2月以降だ。政府のコロナ対応を「評価する」数値と、内閣の支持率とがほぼ連動して動いているのが分かるだろう。菅内閣になってからは支持率の方が高めに出るようにはなったが、「政府のコロナ対応に対する評価」に引きずられて動いているのは変わらない。

新規感染者数は、その月の最大値をとっているが、新規感染者数が最大となった今年1月には、内閣支持率(37.7%)も「政府のコロナ対応を評価する」(26.5%)とする数値も過去最低・最小となった。感染者数が減少に転じた2月以降は、菅内閣の方針転換もあり、「政府対応への評価」はやや上がったものの、内閣支持率はまだ横ばい状態のままだ。

新型コロナ—政府の対応をどう評価

	評価する	評価しない
JNN3.8	45	50
読売3.8	45	45
NHK3.8	47	57
時事3.12	28.4	46.1
毎日3.14	23	57
FNN3.15	42.5	48.2
朝日3.22	35	51
ANN3.22	36	47
共同3.22	36.5	56.5
日経3.29	38	55
平均	37.6	51.3

②もっと遡って見ると、かつて安倍内閣は昨年4月7日に第1回目の緊急事態宣言に踏み切り(4.16に全国に拡大)、事業規模117兆円という過去最大の補正予算を成立させた。しかしこの4

首相は感染拡大防止に指導力を

	発揮してる	発揮してない
4月朝日	33	57
5月朝日	30	57
7月朝日	24	66
8月読売	17	78
9月朝日	41	49
10月朝日	26	45
12月2社	18	74
21.1月朝日	15	73

月の安倍内閣の支持率は逆転し、以来8月の退陣まで、支持率逆転状態は変わらなかった。この4月調査で「緊急事態宣言の発令」を評価する人は75%(6社平均)、「宣言を全国に拡大した」ことを評価する人も86%(2社平均)と高かったものの、「(安倍)首相が感染拡大防止に指導力を発揮している」と思う人は33%しかおらず、「発揮していない」と思う人は57%に達していた(朝日・表参照)。原因はいわゆる「布製アベノマスク」に対する厳しい評価(評価する24.4%・評価しない71.6%。6社平均)と、宣言発令のタイミングが「遅すぎた」78.9%(適切だったのは15.9%。6社平均)ことによるものだった。

これ以降、「首相の指導力」批判は月ごとに強まり、9月菅新政権の発足で、やや持ち直したものの(菅首相が「指導力発揮している」9月41%・「発揮していない」49%)、翌10月からは再び下がり続け、今年1月には「発揮している」がわずか15%、「発揮していない」73%と過去最悪水準になってきたのである。

③菅政権のこれからの「政府の対応」評価の決め手となるのは、2か月半にわたった首都圏1都3県の「緊急事態宣言」解除後の対応と、東京五輪パラ開催問題とセットで政治課題として浮上してきたワクチン問題(確保と接種)だろう。

3月21日で解除された緊急事態宣言についての世論調査では、(解除が)「早すぎる」とする人は51-52%と過半数を占め、「適切・妥当だった」とするのは30-32%、「遅すぎた」が11-13%となっていた。解除後、感染再拡大を受け4月5日には、特措法に基づく「まん延防止等重点措置」が大阪、兵庫、宮城の3府県に適用され、9日には東京と沖縄、京都など他の府県への適用も決定した。しかしこの「重点措置」に対する世論の信頼は高くはなく、その「効果がある」と思うのは40%、「効果があるとは思わない」が51%という調査が出ている(読売4.5)。

1都3県の緊急事態宣言を解除した		
朝日3.22	①早すぎる	51
	②適切だ	32
	③遅すぎる	11
日経3.29	①早すぎる	52
	②妥当だ	30
	③遅すぎた	13
大阪などに蔓延防止措置適用の効果		
	あると思う	思うない
読売4.5	40	51

ワクチンの接種について		
	期待する	期待しない
3月FNN	85.9	12.3
2月時事・毎日	82.0	13.6
1月毎日	72	28
	接種したい	したくない
3月3社平均	69.5	22.6
2月3社平均	61.4	28.5
1月2社平均	49.0	39.5
20年12月2社	51.0	36.5

読売3.8	①すぐに接種したい	18
	②急がないが接種	65
	③接種しない	15
毎日3.14	①すぐに接種したい	49
	②様子を見て接種	42
	③接種しない	6
朝日3.22	①すぐに接種したい	39
	②様子を見て接種	53
	③接種しない	7
ANN3.22	①すぐに接種したい	38
	②様子を見て接種	49
	③接種しない	11

そこで期待が高まってきているのがワクチンだ。日本のワクチン確保が世界的に遅れていることは周知の事実だが、表にあるように、ワクチンへの期待感(毎日)は1月が72%、3月には85.9%へと高まってきており、「接種したい」希望も昨年12月の51.0%から3月は69.5%へと、これも高まってきている。

ただし接種を受けるタイミングについては、各社調査でバラツキがあるが「様子を見て(急がないが)」が42%—65%と最も多く、「接種しない」も6—15%ある。

ワクチン接種は、医療従事者への優先接種から次の段階となる「高齢者への優先接種」が12日から一部が始まるが、高齢者に行き渡るのは6月一杯かかるとのこと。ましてや国民全体には「来年2月末までに」という計画だ。

毎日新聞の3月調査では、ワクチン接種を「すぐに受けたい」とする割合は全体で49%なのだが、高齢者とりわけ80代以上では「すぐに受けたい」は72%(2月は43%)と際だって高い値を示していた。また菅政権の「新型コロナ対策に対する評価」も、3月の平均23%に対して80代以上は49%と総体的に高い。内閣支持率に直結する政策課題になっている。

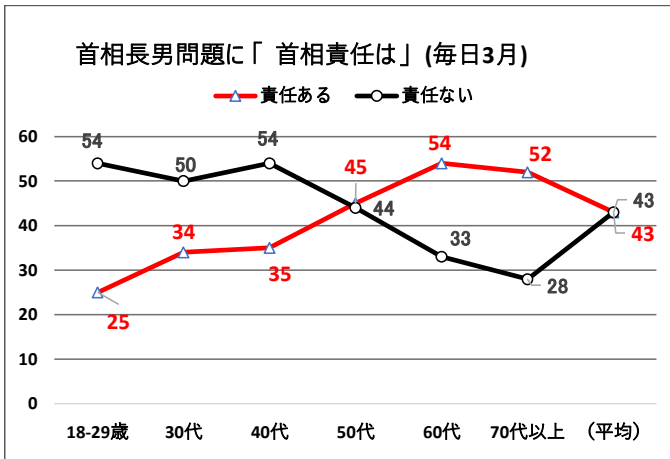
ワクチンによる感染収束が見通せない中、4日、自民党二階幹事長は感染拡大の危険性を認めつつも、「それを恐れていたら何もできない。日本の経済が止まってしまう」と、「GoToトラベル」再開の必要性を強く訴えたが、これはさすがに首相もおいそれと追従できないだろう。

3. 「首相長男の接待問題」と「東京五輪・パラ」問題(中止・延期が7割)など

菅首相長男の接待問題-首相の説明		
	納得・十分だ	納得しない
JNN3.8	16	71
NHK3.8	15	65
時事3.12	11.1	67.2
FNN3.15	17.4	70.3
共同3.22	15.1	73.9
平均	14.9	69.5
2月3社平均	27.9	61.7

菅首相長男の接待問題について		
	問題ない	問題ある
読売3.8	14	84
同接待問題について-首相の責任は		
	責任ある	責任ない
毎日3.14	43	43
	大きい	それほどでも
朝日3.22	42	51
平均	42.5	47.0

①菅首相長男による「総務省高級官僚の接待問題」は、他の方面にも飛び火してきている。この問題に対する政府や首相の説明に「納得しない」との声は2月61.7%、3月69.5%と高くなっている



のだが、同接待問題に関する「菅首相の責任問題」については「責任ある 43%・責任はない 43%」(毎日)と賛否が拮抗している。この毎日調査を詳しく見てみると、50歳代を境目にして反応が分かれていることが分かる。20代の若者は「責任ある 25%・責任ない 54%」と比較的若い世代は首相責任を問題視しない傾向が強く、70代以上では「責任ある 52%・責任ない 28%」となっている。ここでも「政局 이슈には関心ない若年世代」の像が浮かび上がっている。長男接待問題は、今後どこまで拡がっていくのか

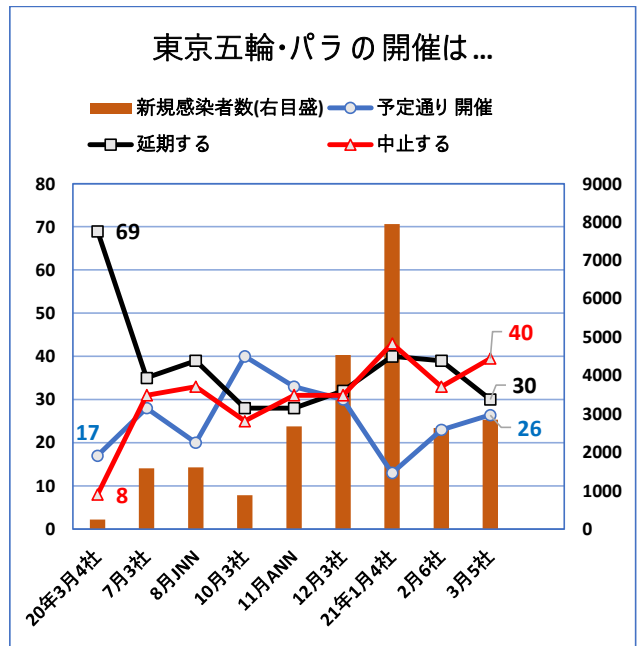
はまだ未知数だ。政権批判へのポデーブローにはなるのだろうか、直接的な決定打となるかどうかはこれからの展開次第だ。

②東京五輪・パラリンピックの問題は、組織委員会の森会長によるジェンダー問題で一乱が

東京五輪・パラの今年開催は	
5社平均	①予定通り開催 26
	②延期を 30 ③中止すべき 40
3.25聖火リレーのスタートは	
ANN3.22	①予定通り実施 39
	②延期を 18 ③中止すべき 38

起きたが、最大のテーマは、予定通り7月23日に開催できるのかどうかだ。世論調査は毎月のように、微妙に揺れ動く反応を見せるのだが、直近の3月調査(5社平均)では「予定通り開催すべき」が26%で、2月23%(6社)、1月調査13%(4社)よりもやや増えている。また「中止すべき」が1月43%から2月33%、3月40%と揺れ動いている。「延期を」3月は30%で、「中止と延期」は併せて7割に達する。

3月25日からは聖火リレーが始まったが、各地では応援の熱が入り「密になった」例が報



告され、そのあり方も問われてきている。聖火リレーについては、3月事前の調査(ANN)では、「予定通り実施」は39%で、「延期を」18%、「中止すべき」40%と、否定的な答えの方が多かったのだ。

東京五輪・パラの開催方法(含観客)	
NHK3.8	①これまで同様に開催 5
	②無観客で開催 34 ③観客数制限 19
	④中止する 33
毎日3.14	①予定通りに開催する 9
	②無観客で開催 15 ③海外観客入れずに開催 21
	④中止する 32 ⑤再延期 17
日経3.29	①通常通りに開催する 2
	②観客制限して開催 26 ③無観客で開催 26
	④再延期 25 ⑤中止 35
JNN3.8	①全ての国からけ入れ 17
	②日本人だけの観客 48 ③無観客で 32
共同3.22	①観客は通常どおりに 3.2
	②観客数を制限 53.9 ③無観客で 39.8
ANN3.22	①検査後、海外からも 15
	②国内の観客だけで 12
	③国内観客も減で 40 ④無観客で 26

これ以降のテーマは「無観客でやるのか、中止するのか」に

次の首相にふさわしいのは？	
読売3.8	①河野 26 ②石破 19
	③小泉 17 ④安倍 9 ⑤岸田 4
	⑥菅/野田 3 ⑧西村/加藤/茂木 1
JNN3.8	①河野 28 ②石破 19
	③小泉 12 ④菅 7 ⑤岸田 5
	⑥野田 3 ⑦茂木 2 ⑧加藤 1
ANN3.22	①河野 21 ②石破 18
	③小泉 11 ④菅 9 ⑤安倍 7
	⑥岸田 3 ⑦野田/茂木 2 ⑧加藤 1

焦点が移っている。世論調査は設問が統一されておらずバラバラなのだが、大まかに見ると、「中止」論は32-35%、「再延期」論も17-25%ある。開催を前提とした設問(JNN/共同/ANN)でも「無観客で」が26-39.5%あることが分かる。東京五輪開催まであと105日(4月9日現在)。感染再拡大の状況とワクチン確

衆議院解散・総選挙の時期は	
ANN3.22	①出来るだけ早く 10
	②6月頃 7 ③任期満了で 78
日経3.29	①4月首相訪米後 8
	②7月都議選と同日 6 ③五輪後に 11
	④任期満了で 70
読売4.5	①10月任期満了で 64
	②9月五輪パラ後 20 ③7月五輪パラ前 4
	④5月頃 7

保・接種の問題に対する政府の対応が、菅内閣の命運に大きな影響を与えるだろう。

③最後に菅政権の寿命の問題だ。既に「次の首相」候補には1番・河野行革担当相、2番・石破元幹事長、3番・小泉環境相と順番がほぼ決まっている。菅氏の順番は常に4番手以降で、既に退陣が約束されているかのようだ。次の総選挙も「任期満了で」が64-78%と大勢なのはこれまでと変わらない。

4. 自民党と野党の支持率、その他

最後に、3月の政党支持率一覧などを掲載しておく。自民党支持率を含めて余り変化はない。

政党支持率

3月	自民	立憲	国民	公明	共産	社民	維新	れいわ	NHK	支持なし
日経3.29	43	11	1	4	4	0	4	0	0	29
毎日3.14	32	10	1	3	3	1	7	2	1	38
読売3.8	40	6	0	3	2	1	3	1	0	42
朝日3.22	33	5	1	3	2	1	2	0	0	46
共同3.22	38.3	7.4	1.8	3.7	3.2	0.8	4.5	2.0	0.6	35.6
時事3.12	23.0	4.8	0.4	3.5	1.7	0.2	2.4	0.2	0.1	62.4
NHK3.8	35.6	4.5	0.8	3.2	3.1	0.3	2.1	0.2	0.2	42.1
JNN3.8	38.3	4.8	0.9	2.0	2.4	0.3	3.1	0.5	0.4	41.4
ANN3.22	43.7	10.5	1.2	3.9	4.5	0.3	2.2	0.1	0.4	31.9
平均	36.3	7.1	0.9	3.3	2.9	0.5	3.4	0.7	0.3	40.9
2月平均	36.2	8.0	0.9	3.2	3.3	0.5	3.2	0.4	0.2	40.4
前月比	0.1	-0.9	0.0	0.0	-0.4	0.1	0.2	0.2	0.1	0.5
参考FNN	40.1	6.5	1.1	4.4	2.1	0.2	2.5	0.2	0.3	38.8

総務・農水-官僚接待で

行政は歪められたと思うか

	そう思う	思わない
NHK3.8	56	24
ANN3.22	62	21
共同3.22	52.6	34.2
日経3.29	63	29
平均	58.4	27.1

総務省・大臣とNTT会食は公平性に

	影響あった	そう思わない
朝日3.22	63	28

感染が再拡大する不安は

	感じている	感じない
読売3.8	92	7
朝日3.22	90	9
日経3.29	88	10
平均	90.0	8.7

新型コロナへの感染の不安は

	感じている	感じない
NHK3.8	80	17

変異ウイルスによる感染の不安は

	感じている	感じない
NHK3.8	80	16
共同3.22	82.2	
平均	81.1	16.0

自身のコロナ対策は以前より疎かに？

	感じている	それほどでも
朝日3.22	17	81

東京五輪-観客を入れたの開催に

	賛成	反対
読売3.8	45	48

東京五輪-海外からの観客受け入れ

	賛成	反対
読売3.8	18	77
朝日3.22	11	85
平均	14.5	81.0

東京五輪-観客は日本在住者だけに

	賛成	反対
FNN3.15	68.8	27.4

政府のワクチン接種の取り組みは

	評価する	評価しない
朝日3.22	69	29
共同3.22	28.9	65.6

ワクチン接種はスケジュール通りに

	進むと思う	思わない
JNN3.8	23	69

ワクチン接種のスケジュールは

読売3.8	①思っていたより早い 20	②思っていたより遅い 38	③同じくらい 39
-------	---------------	---------------	-----------

	評価する	評価しない
FNN3.15	56.9	32.0

感染拡大防止と経済稼働-どちら重視

	感染拡大防止	経済稼働
FNN3.15	71.2	21.7

東日本大震災10年-被災地への関心

JNN3.8	①関心は高まった 24	②変化はない 57	③薄まった 18
--------	-------------	-----------	----------

同性同士の結婚を法律で認める事に

	認めるべき	そう思わない
朝日3.22	65	22

選択的夫婦別姓の賛否

	賛成	反対
日経3.29	67	26

最も評価する女性の政治家は

- 毎日3.14 ①メルケル 140人(19%)
 ②小池百合子 54(7) ③サッチャー 29(4)
 ④アーダン(ニュージーランド) 24(3)
 ⑤蔡英文 18(2) ⑥野田聖子 15(2)
 ⑦蓮舫 14(2) ⑧アウンサンスーチー 13(2)
 ⑨橋本聖子 10(1) ⑩土井たか子 8(1)
 ⑪田中真紀子 8(1) ⑫クリントン 8(1)

尖閣諸島周辺での中国に脅威を

	感じる	感じない
FNN3.15	91.2	7.0

中国に対する政府の強い姿勢に

	支持する	支持しない
ANN3.22	85	7

感染再拡大を防ぐための優勢政策は

- 日経3.29 ①ワクチン接種の加速 44
 ②無感染者への検査拡大 17
 ③変異ウイルス検出態勢強化 15
 ④病床拡大 ⑤高齢者施設の集中検査 5
 ⑥飲食店の営業時間短縮 5

☆これまでの「直近の世論調査から」シリーズ、各種選挙結果とデータなどをホームページに掲載しています。自由にご利用ください。

(北海道世論調査会まとめ)